

イーストスプリング インド投資マンスリー

2026年7月号

インド投資マンスリー
動画配信中！



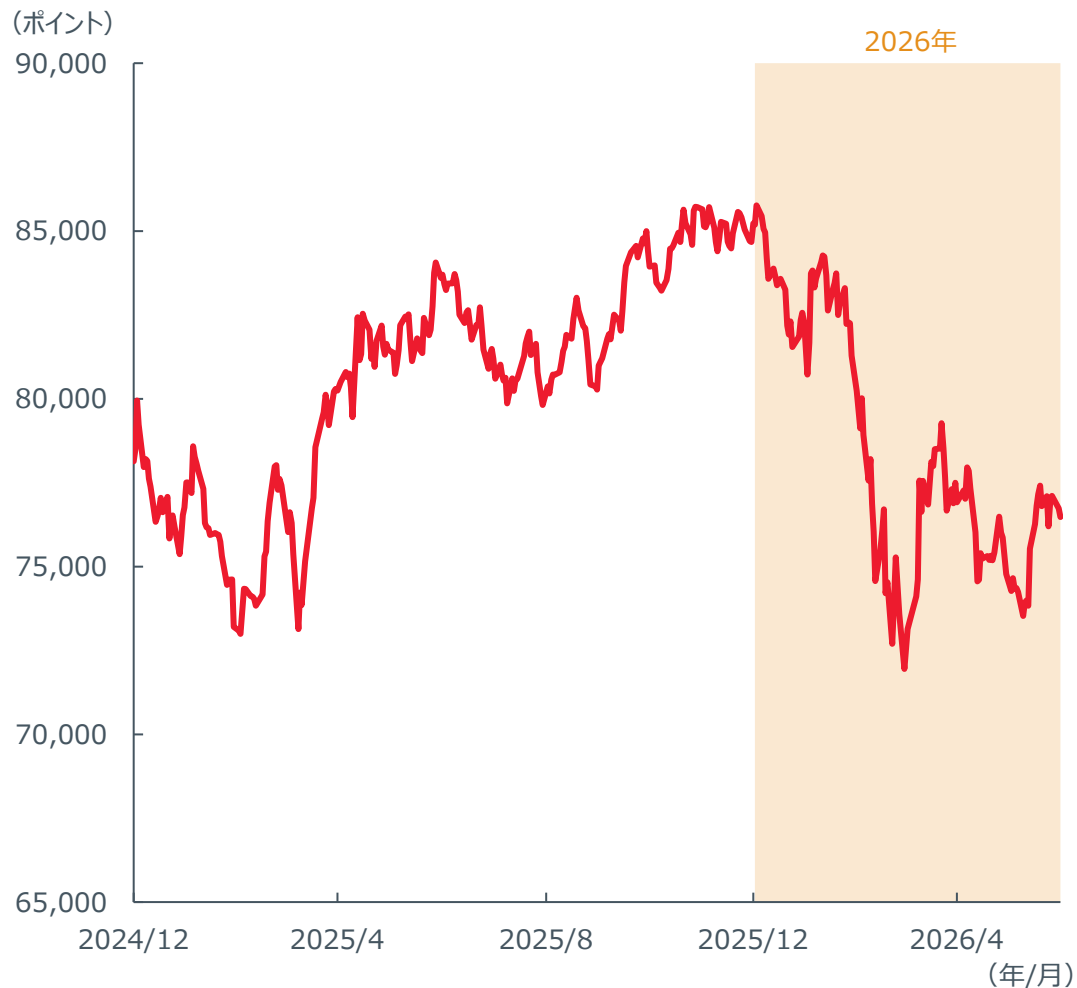
イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号
加入協会 一般社団法人資産運用業協会

英国プルデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。
最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるプルデンシャル・アシユアランス社とは関係がありません。

株式：中東情勢の緊張緩和や政策支援を背景に上昇

SENSEX指数の推移 (2024年12月末～2026年6月末、日次)



2026年6月の振り返り

6月のインド株式市場（SENSEX指数）は、月間で2.3%上昇しました。中型株および小型株もそれぞれ1.4%、5.3%上昇しました。

月初は、中東情勢を巡る不透明感や原油価格の上昇が重しとなり、不安定な展開となりました。しかしその後は、米国とイランの停戦合意を受けた原油価格の下落に加え、インド準備銀行（RBI、中央銀行）による政策金利の据え置きや、外国資本の流入拡大を目的としてRBIが発表した政策が好感され、投資家心理が改善しました。

セクター別では、サービス、金融サービス、ヘルスケアなどが上昇する一方、ITや公益事業などは下落しました。

投資主体別では、外国投資家による売り越しが続く中、国内投資家は引き続き買い越しを維持し、株式市場の下支えとなりました。

規模別指数の期間別騰落率 (2026年6月末時点)

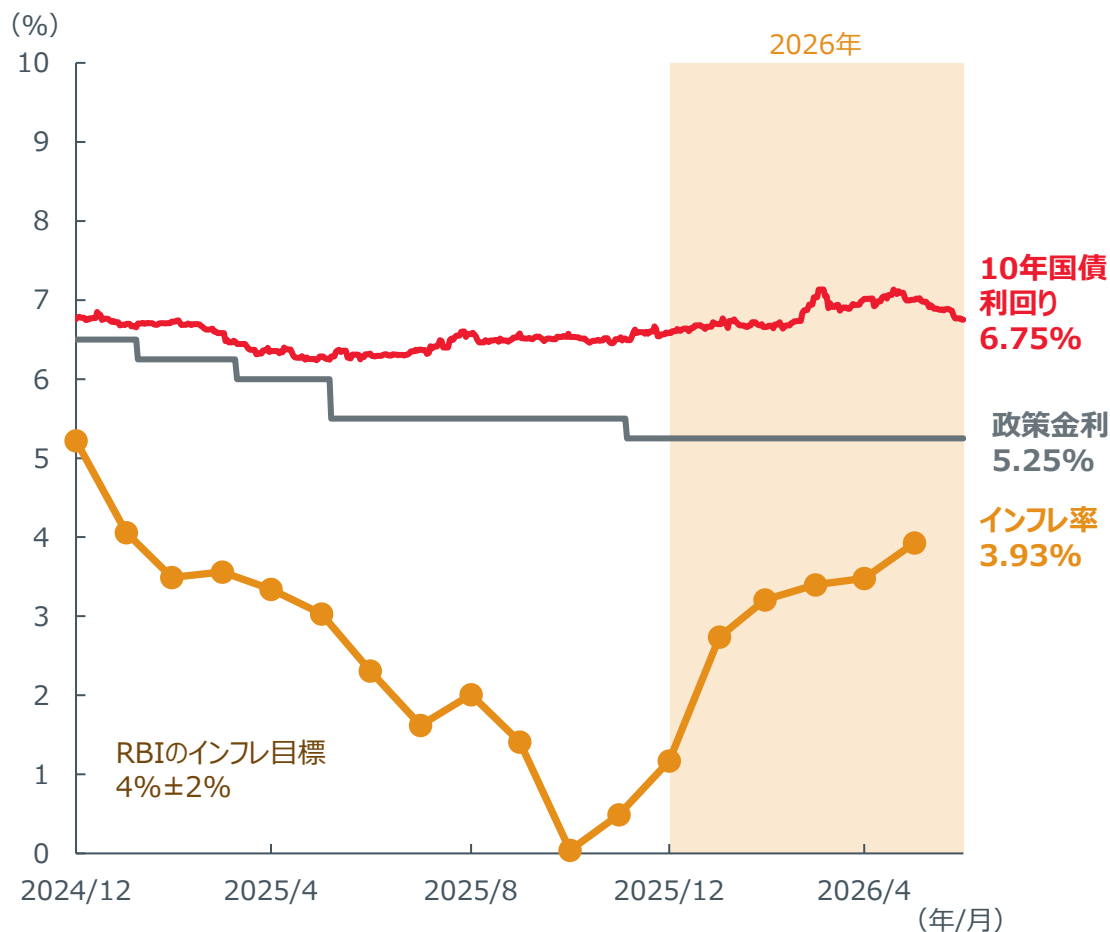
	1か月間	3か月間	6か月間
大型株 (SENSEX指数)	2.3%	6.3%	-10.3%
中型株 (BSE中型株指数)	1.4%	17.2%	1.2%
小型株 (BSE小型株指数)	5.3%	29.1%	8.3%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※全てプライス・リターン、インドルピーベース。

債券：10年国債利回りは低下、インフレ率は上昇

政策金利*、インフレ率**、10年国債利回りの推移

(2024年12月末～2026年6月末、日次)



2026年6月の振り返り

6月のインド10年国債利回りは、RBIが政策金利および政策スタンスを据え置いたことに加え、RBI総裁が現時点で利上げを検討していないとの見方を示したことから、市場の利上げ観測が後退し、低下基調となりました。また、外国資本の流入拡大を目的としてRBIが発表した政策が安心材料となったほか、国内銀行システムの余剰流動性改善や外国投資家による債券市場への資金流入も追い風となり、月末にかけて低下しました。

6月12日に公表された5月のインフレ率は、前年同月比+3.93%と、4月の同+3.48%からやや加速したものの、引き続きRBIの目標レンジ内に収まりました。食品価格や外食・宿泊関連サービスなどの価格上昇が主な押上げ要因でした。

債券利回りの変化幅

	2026年6月末	2026年5月末	変化幅
10年国債利回り	6.75%	7.00%	-0.25%
5年国債利回り	6.42%	6.82%	-0.40%

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

*レポ金利。**消費者物価指数（CPI）上昇率（前年同月比）、同項目のみ月次。2024年12月までは旧基準（2012=100）、2025年は新基準（2024=100）に基づく参考系列、2026年1月以降は新基準による正式系列を使用。2026年5月まで。

為替：ルピーは対米ドル、対円ともに上昇

- 6月のルピーは、対米ドルで0.4%、対円で2.3%上昇しました。
- ルピーは対米ドルで最安値圏での推移が続いています。一方、新興国通貨と比べて変動幅が小さく、中長期で見ると相対的に安定した動きとなっています。

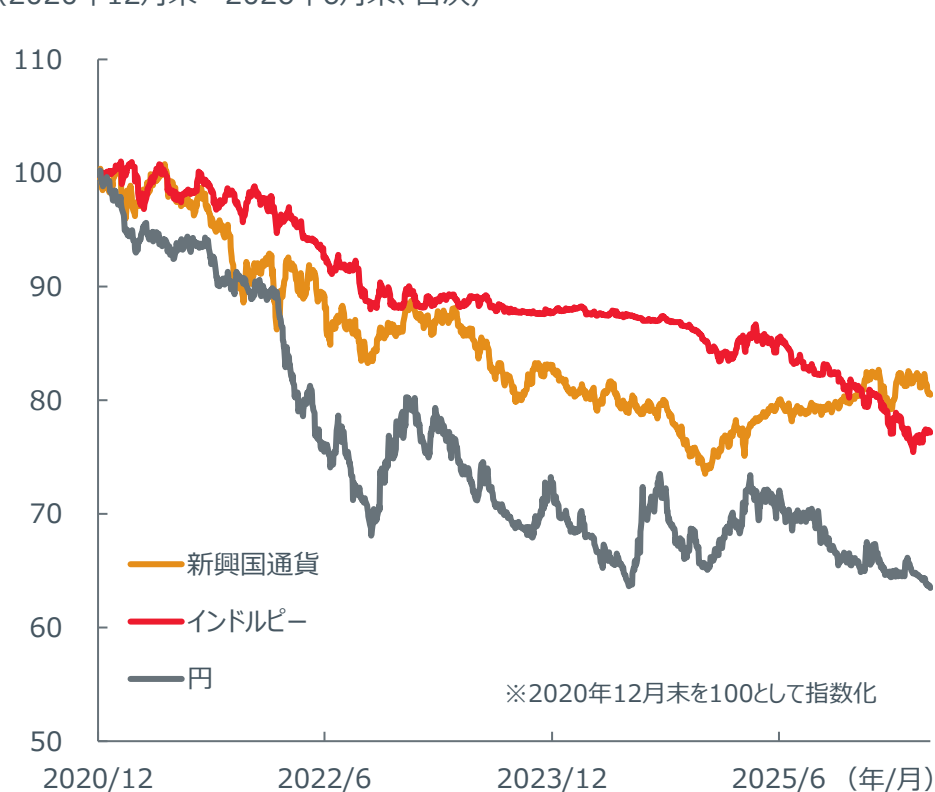
ルピー（対米ドル、対円）の推移

(2024年12月末～2026年6月末、日次)



新興国通貨*、ルピー、円（対米ドル）の推移

(2020年12月末～2026年6月末、日次)



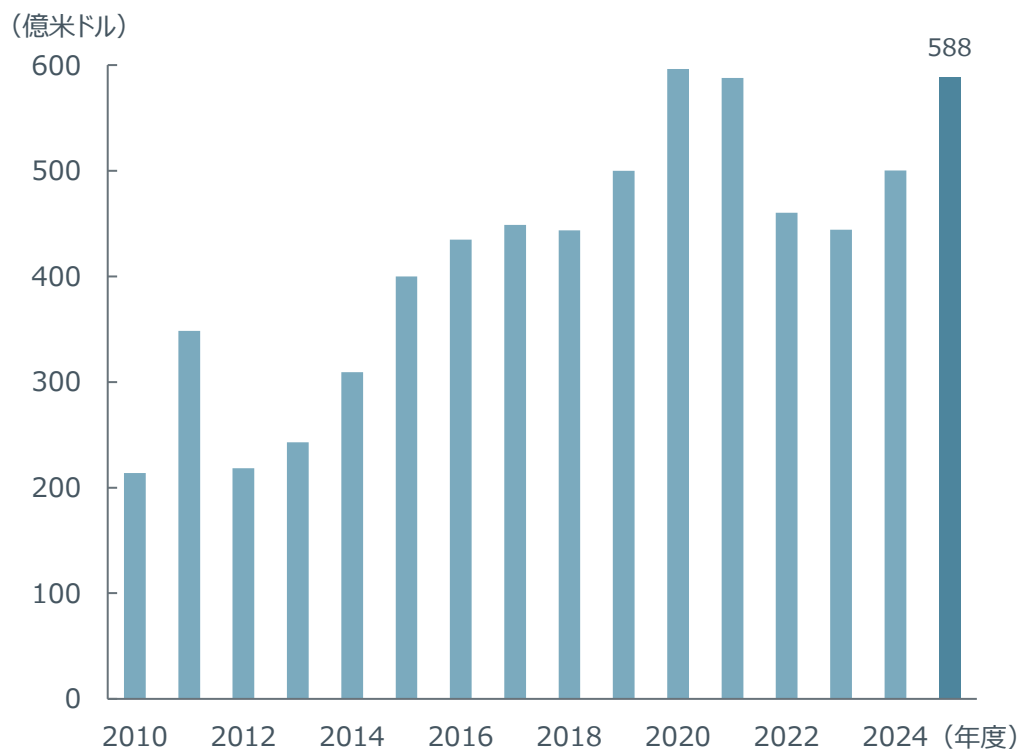
出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
*新興国通貨：JPモルガン・エマージング・マーケット・カレンシー・インデックス。

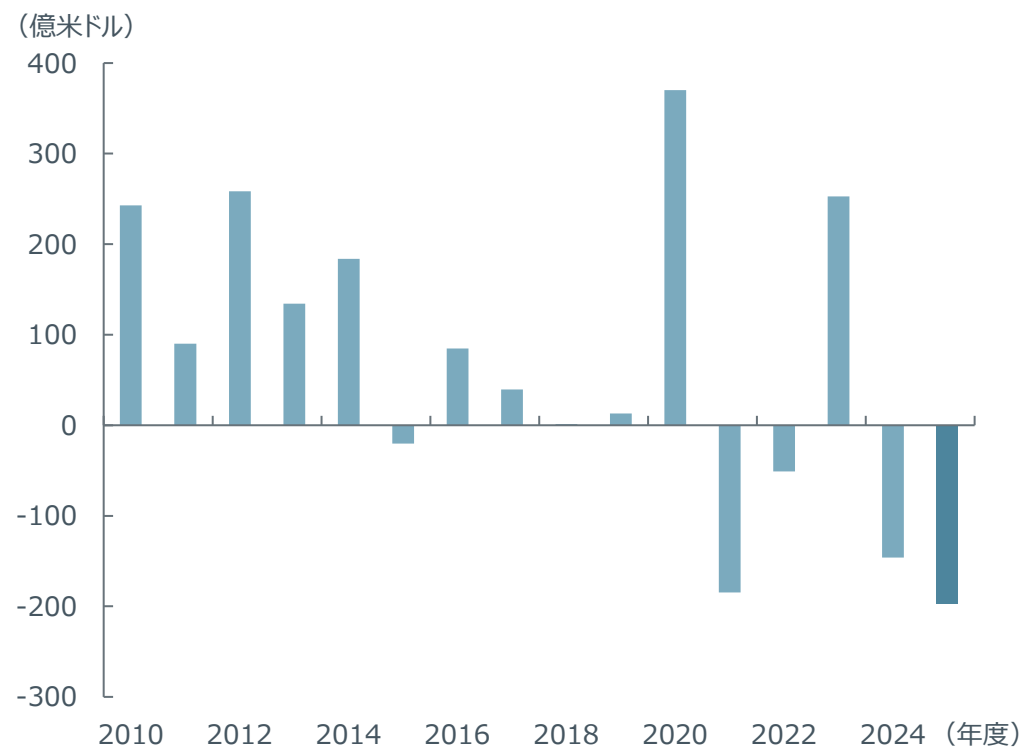
直接投資（株式資本）の拡大が示すインドの中長期的な投資の魅力

■ インドの2025年度の対内直接投資（FDI）株式資本流入額は、前年比18%増の588億米ドルとなりました。外国投資家による証券市場を通じた短期資金が流出超となる一方、直接投資はコンピュータ・ソフトウェア／ハードウェアやサービス分野を中心に流入しており、自動車や医薬品などの製造関連分野にも資金流入がみられます。デジタル経済の成長や製造業強化を背景に、インドへの中長期的な投資需要は底堅く推移しています。

インドへの対内直接投資（FDI）株式資本流入額
（2010年度～2025年度）



外国投資家のインド株式市場への資金純流出入
（2010年度～2025年度）



出所：インド商工省のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※株式資本流入額は非法人組織向け出資を除く。2025年度は暫定値。
 ※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2025年度は2025年4月～2026年3月。

出所：NSDL（国立証券保管機関）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※インドの会計年度は4月から翌年3月まで。例えば2025年度は2025年4月～2026年3月。

旺盛な資金需要が銀行セクターの成長を支える

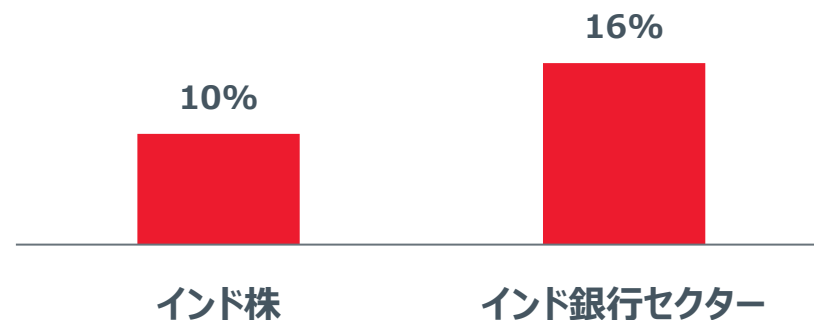
■ インドでは企業向け・個人向け融資が堅調に推移しており、銀行貸出金残高の伸び率は高水準を維持しています。企業の設備投資需要や個人消費を背景とした資金需要の拡大は、銀行セクターの収益成長を支える要因となっています。また、銀行セクターは市場全体を上回る利益成長が見込まれている一方、バリュエーション（予想PER）は長期平均を下回る水準にあり、相対的に割安感がみられます。

インドの銀行貸出金残高の伸び率（前年同月比）の推移
（2016年6月～2026年5月、月次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インド株と銀行セクターの一株当たり利益（EPS）成長率比較
（2026年～2028年、年率、予想）



インド株と銀行セクターの予想PER
（2016年7月末～2026年6月末）

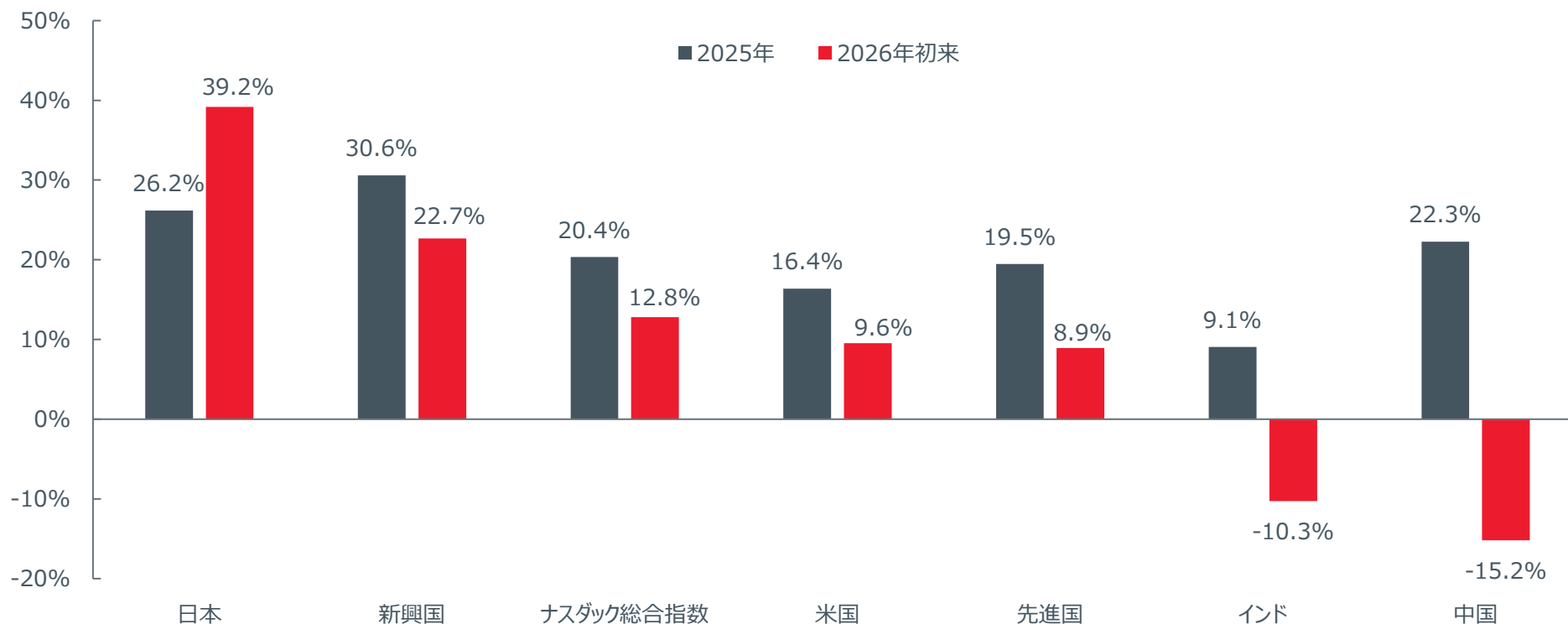


出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
※インド株：SENSEX指数、インド銀行セクター：S&P BSE銀行株指数。

2025年、2026年共にインド株は相対的に出遅れ

主な株価指数の騰落率

(2025年：2024年12月末～2025年12月末、2026年初来：2025年12月末～2026年6月末)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

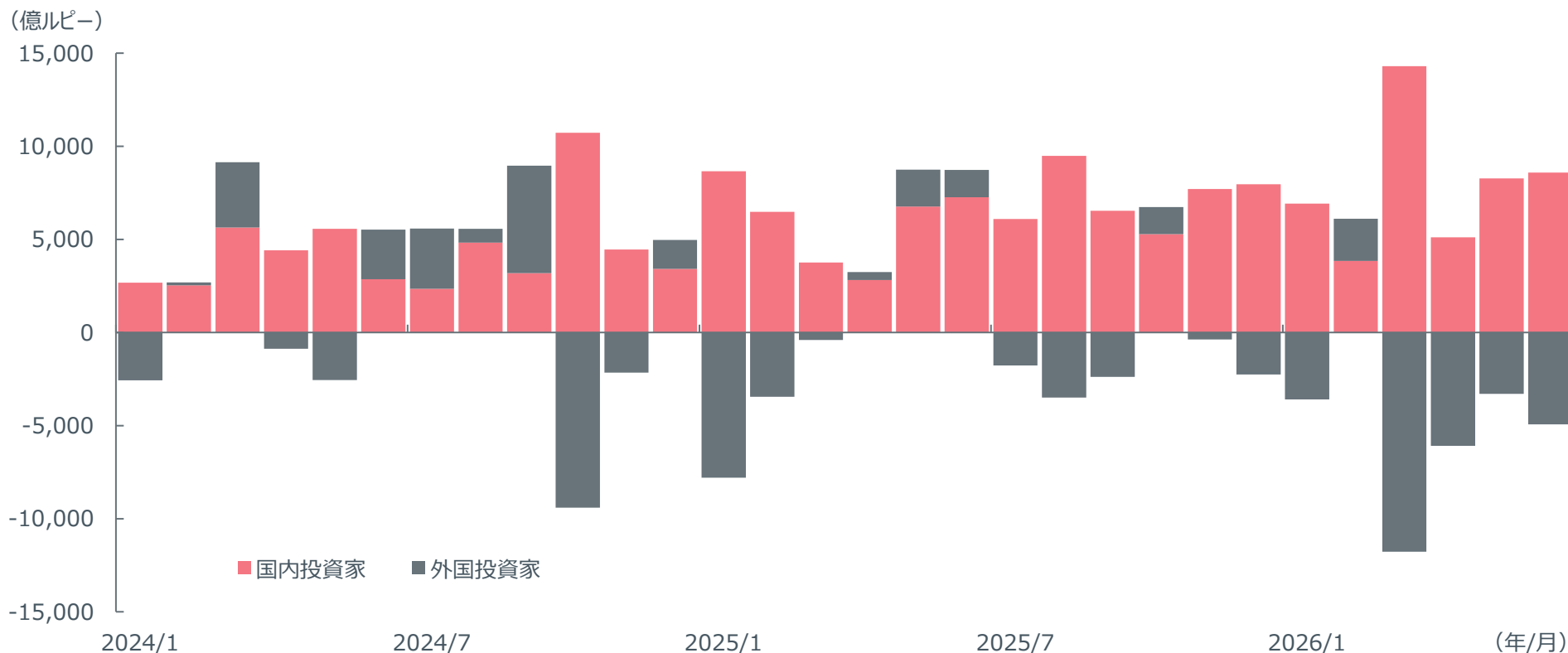
日本：日経平均株価、新興国：MSCIエマージング・マーケット指数、米国：S&P500種指数、先進国：MSCIワールド指数、インド：SENSEX指数、中国：ハンセン中国企業株指数（H株）。全てプライス・リターン、現地通貨ベース（先進国株、新興国株は米ドルベース）。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

外国投資家は2026年3月以降4ヵ月連続でインド株を売り越し

国内投資家、外国投資家のインド株式市場への資金純流出入

(2024年1月～2026年6月、月次)



出所：BSE（ボンベイ証券取引所）、NSDL（国立証券保管機関）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

2012年対比で、外貨準備高は増加、インフレは安定的に推移

ブレント原油（先物）価格の推移

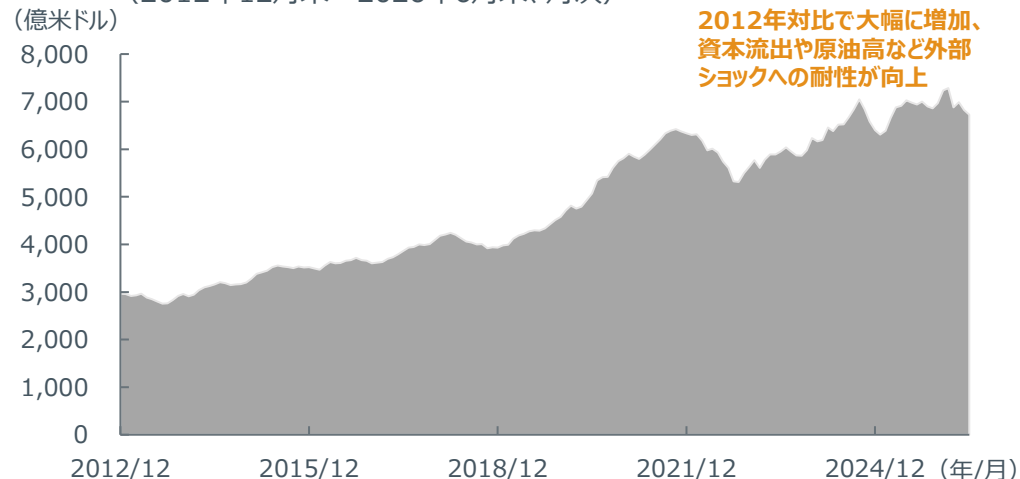
(2012年12月末～2026年6月末、月次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

外貨準備高の推移

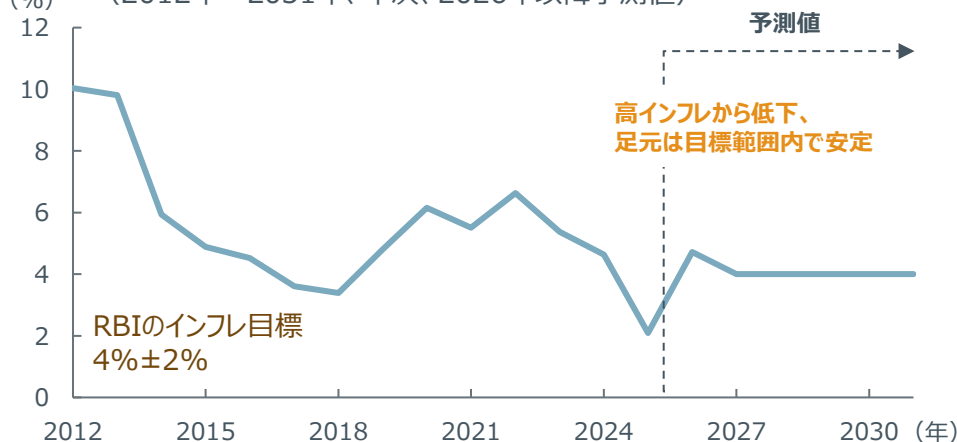
(2012年12月末～2026年6月末、月次)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インフレ率*の推移

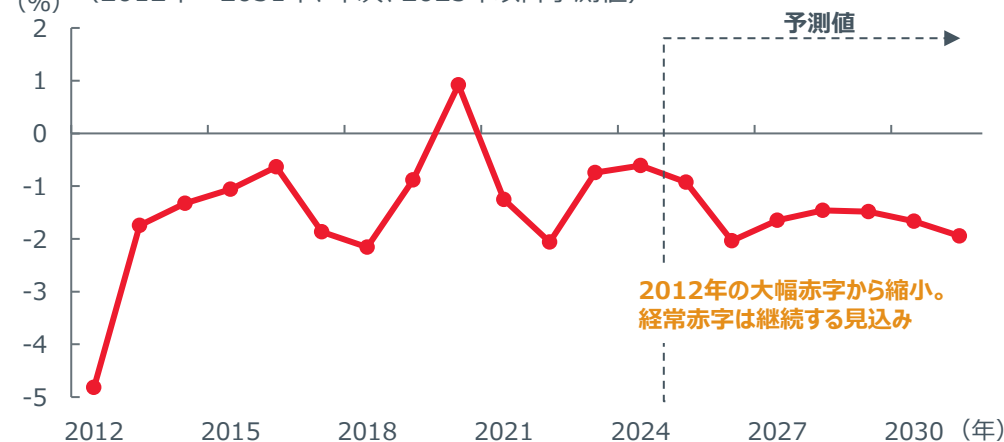
(2012年～2031年、年次、2026年以降予測値)



出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。*消費者物価指数（CPI）上昇率（前年比）。

経常収支（対GDP比）の推移

(2012年～2031年、年次、2025年以降予測値)

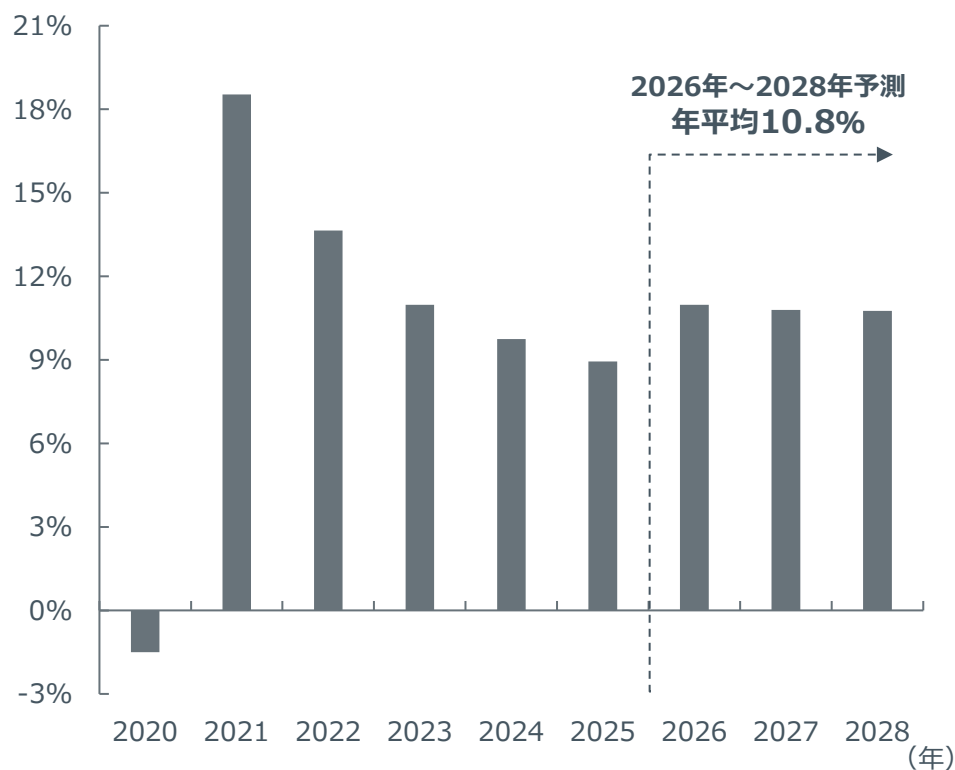


出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

名目GDP成長率および利益の伸びは回復が予想される

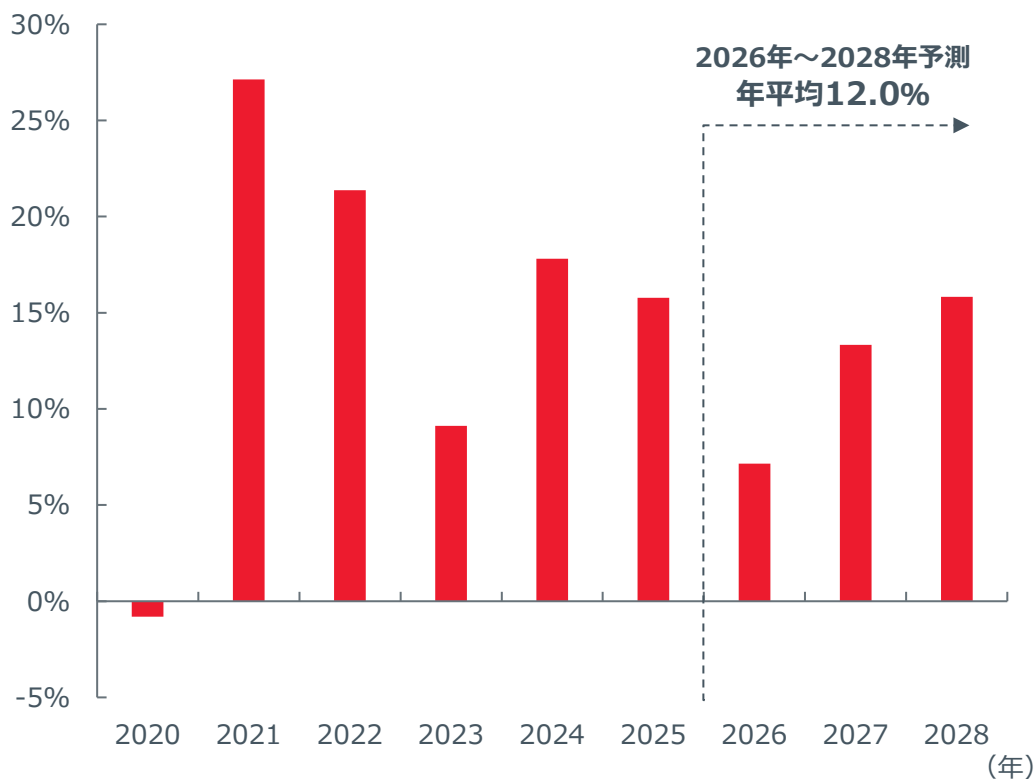
インドの名目GDP成長率（前年比）

（2020年～2028年）



インド株式の1株当たり利益成長率（前年比）

（2020年～2028年）

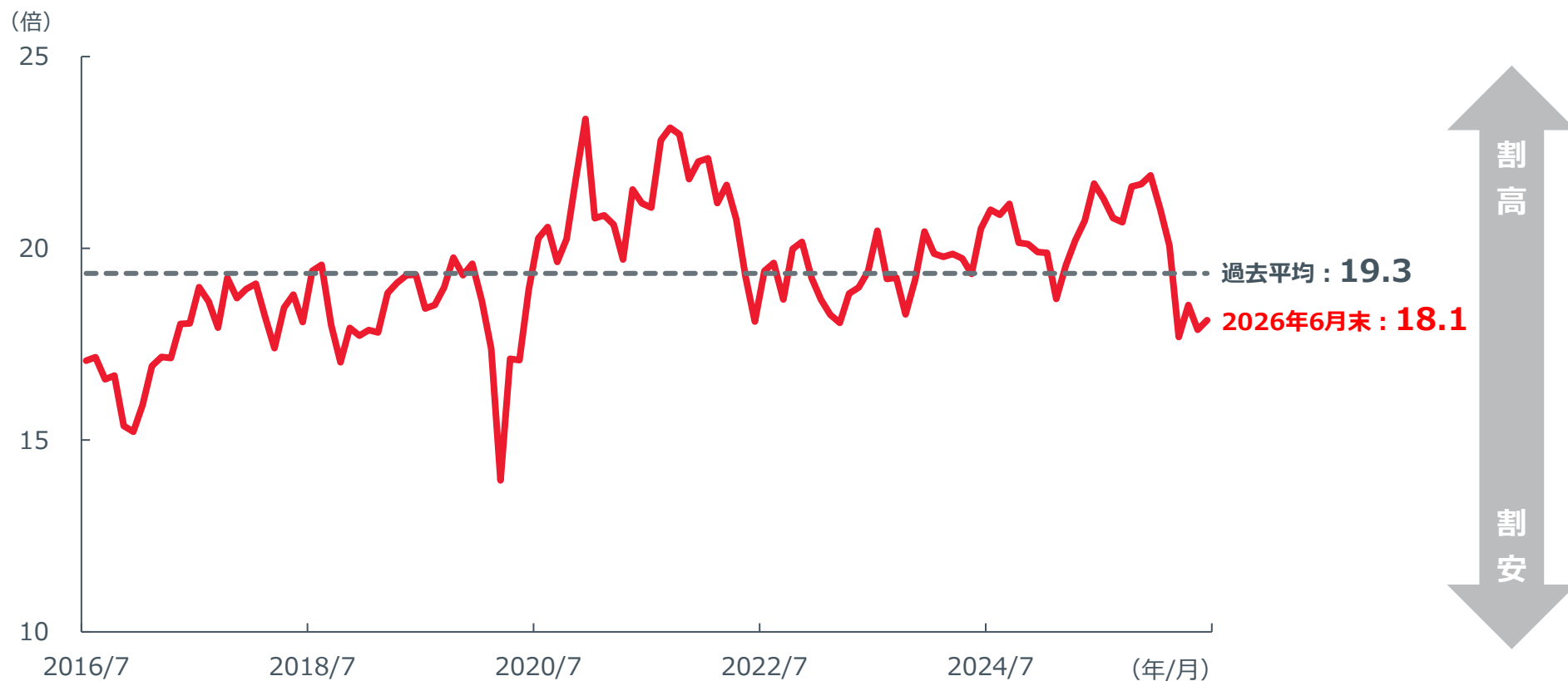


出所：IMF世界経済見通しデータベース（2026年4月）のデータに基づきイーストスプリング・インベストメント作成。2026年以降は予測値。

出所：Bloomberg L.P. のデータに基づきイーストスプリング・インベストメント作成。
 ※インド株式：MSCIインド指数。2026年以降の1株当たり利益（EPS）は2026年7月1日時点のBloombergコンセンサス予想。

インド株式は過去平均（10年）と比較すると割安な水準

インド株式のバリュエーション（予想株価収益率（予想PER））の推移
 （2016年7月末～2026年6月末、月次）



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。
 ※インド株式：SENSEX指数。予想PERは1年先の企業利益予想に基づく株価収益率。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

インドの消費関連株およびインフラ関連株は主要指数と相関が低い

主要株価指数とインド株、インド・消費関連株、インド・インフラ関連株の相関係数

(2016年6月末～2026年6月末、月次、円換算ベース)

<0.6

	世界株	米国株	米国IT株	日本株	新興国株
インド株	0.63	0.58	0.46	0.53	0.61
インド・消費関連株	0.43	0.39	0.34	0.43	0.42
インド・インフラ関連株	0.45	0.39	0.33	0.47	0.47
世界株	1.00	0.98	0.86	0.79	0.79
米国株	0.98	1.00	0.89	0.73	0.69
米国IT株	0.86	0.89	1.00	0.71	0.63
日本株	0.79	0.73	0.71	1.00	0.74
新興国株	0.79	0.69	0.63	0.74	1.00

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

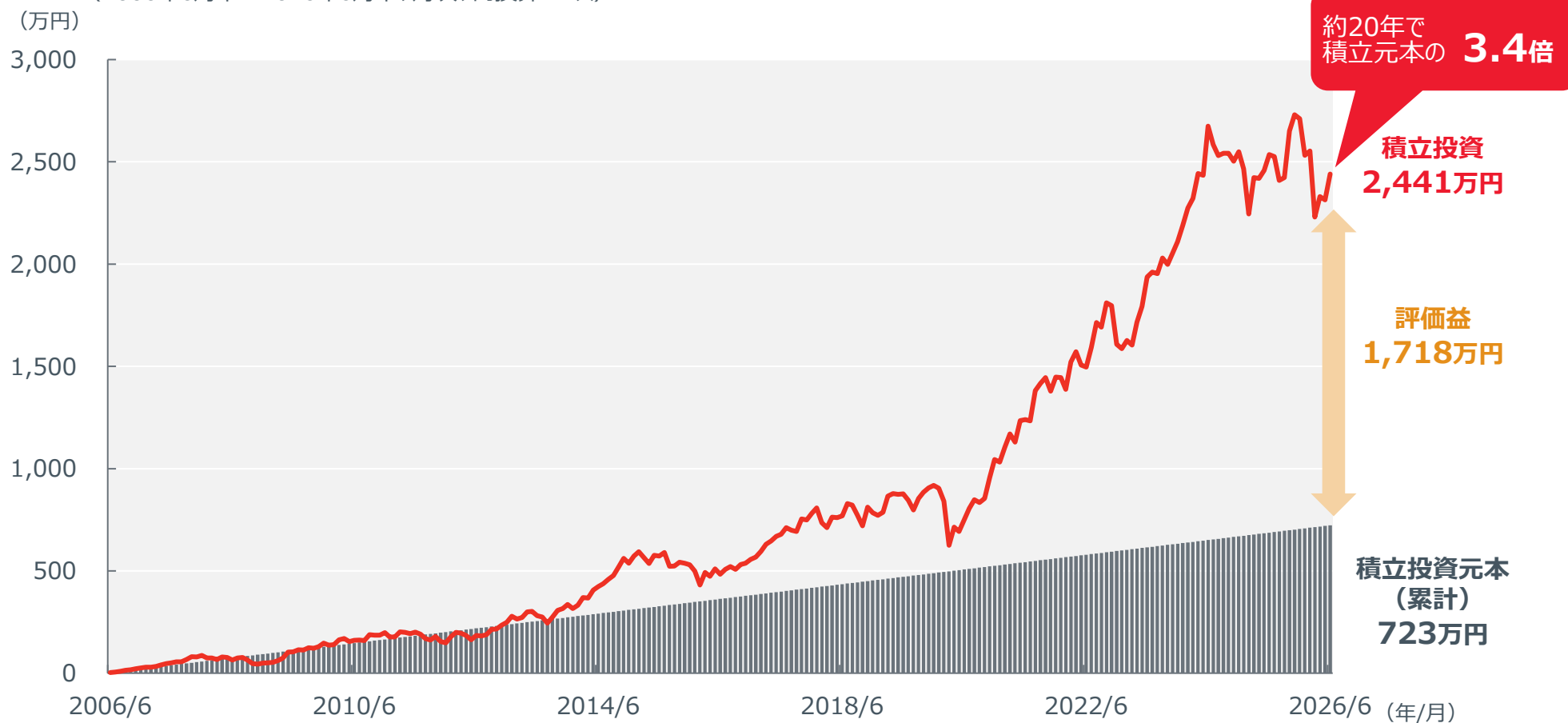
※インド株：SENSEX指数、インド・消費関連株：BSE日用消費財セクター指数、インド・インフラ関連株：BSEインフラセクター指数、世界株：MSCIオール・カンントリー・ワールド指数、米国株：S&P500種指数、米国IT株：S&P500情報技術セクター指数、日本株：日経平均株価、新興国株：MSCIエマージング・マーケット指数。全てトータル・リターン（グロス）。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

積み立てを活用したインド株式への投資

インド株式に毎月3万円ずつ積立投資した場合のシミュレーション

(2006年6月末～2026年6月末、月次、円換算ベース)



出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

インド株：SENSEX指数、トータル・リターン（gross）。

※毎月末に当該指数を3万円ずつ追加購入したと仮定（購入時の手数料、税金等は控除していません）。

※当シミュレーションは、一定の前提のもとで計算したシミュレーションであり、実際のパフォーマンスとは異なります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。指数に直接投資することはできません。

● この資料の最終ページにご留意いただきたい事項を記載しております。必ずご確認ください。

2000年以降21カ年は最大10%超下落も21カ年は年間プラス

インド株の2000年以降の年間最大下落率と年間騰落率

(2000年～2025年)

年	年間最大下落率	年間騰落率
2000	-39.4%	-20.6%
2001	-41.4%	-17.9%
2002	-23.7%	3.5%
2003	-13.7%	72.9%
2004	-27.3%	13.1%
2005	-12.7%	42.3%
2006	-29.2%	46.7%
2007	-15.3%	47.1%
2008	-59.5%	-52.4%
2009	-21.0%	81.0%
2010	-10.8%	17.4%
2011	-26.2%	-24.6%
2012	-13.5%	25.7%
2013	-11.8%	9.0%

年	年間最大下落率	年間騰落率	
2014	-6.9%	29.9%	✓
2015	-16.1%	-5.0%	
2016	-12.3%	1.9%	
2017	-4.3%	27.9%	✓
2018	-14.3%	5.9%	
2019	-10.4%	14.4%	
2020	-38.1%	15.8%	
2021	-9.6%	22.0%	✓
2022	-16.2%	4.4%	
2023	-6.9%	18.7%	✓
2024	-10.1%	8.2%	
2025	-8.7%	9.1%	✓
過去26年間の 平均	年間最大下落率 (単純平均)	年平均上昇率 (CAGR)	
	-19.2%	11.5%	

出所：Bloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

※インド株：SENSEX指数、現地通貨ベース、プライス・リターン。

※青ハイライトは年間騰落率がプラス、赤ハイライトは年間騰落率がマイナス、✓は年間最大下落率が-10%を下回った年。

【まとめ】 足元の主なポジティブ要因とネガティブ要因

ポジティブ要因

- ✓ 中東情勢の緊張緩和を受けた原油価格の下落
- ✓ 外国資本流入を促す政策対応
- ✓ 国内投資家による継続的な買い越し
- ✓ 大型株を中心としたバリュエーションの割高感の緩和

ネガティブ要因

- ✓ 外国投資家による売り越し
- ✓ AI関連株主導で上昇する一部新興国市場とのパフォーマンス格差
- ✓ ITセクターの軟調な推移
- ✓ 降雨不足や食料品価格上昇への懸念

出所：ICICIAMの情報に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

当資料に関してご留意いただきたい事項

- 当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。
- 当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。
- 当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

※MSCI 指数はMSCI Inc. が算出している指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

※JPモルガン・エマージング・マーケット・カレンシー・インデックスはJ.P. Morgan Securities LLCが算出、公表しているインデックスであり、著作権、知的財産権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。